



知れば知るほど



町田市 環境白書 2021 —活動報告—



町田市

はじめに



町田市長 石坂 丈一

私たちは、急激な近代化や高度経済成長を経て、物質的な豊かさと便利さを手に入れてきましたが、その陰では、世界規模の地球温暖化や、自然環境破壊による生物多様性の喪失などが進行しており、将来の課題として残された環境問題はますます深刻なものとなっています。

町田市においては、2012年に第二次町田市環境マスタープランを策定し、「望ましい環境像」である「水とみどりとにぎわいの調和した環境都市 まちだ」の実現に向けた取り組みをスタートしました。

環境白書2021は、この「環境マスタープラン」の2020年度の取り組み状況の紹介とともに、2020年度の町田市の環境の現状や動向についてもまとめたものとなっています。

また、本書「活動報告」は、市が特に力を入れた取り組みを紹介し、町田市の環境の現状や環境施策の進捗状況をまとめた「データ集」と構成を分けて編集しています。

より多くの市民・事業者の方に本書を手にとりいただくことで、市内の環境問題に関心を持っていただき、また環境に配慮した活動に積極的に参加していただけるのではないかと願っております。

本書により、一人でも多くの方に町田市の環境の現状に関心を持っていただき、共に行動することができたら幸いです。

目次

1. 「町田市環境白書」について.....	5
1.1. 「町田市環境白書」の役割.....	5
1.2. 「環境マスタープラン」について.....	6
1.3. 「アクションプラン」について.....	7
2. 町田市の環境の概要.....	8
2.1. 町田市の温暖化.....	8
(1) 気温と年間降水量.....	8
〔コラム〕 エシカル消費と食品ロス削減.....	9
(2) 二酸化炭素排出量.....	10
(3) エネルギー消費量.....	10
(4) 自動車保有台数・公共交通機関利用者数.....	11
2.2. 町田市の自然環境.....	12
(1) 自然的土地面積の割合.....	12
(2) 公園等の緑地.....	12
2.3. 町田市の廃棄物.....	13
(1) ごみの排出量.....	13
(2) 資源化（リサイクル）率.....	13
2.4. 町田市の生活環境.....	14
(1) 大気環境測定結果.....	14
(2) 河川の水質測定結果.....	15
(3) 下水道普及率の変化.....	15
3. 活動報告.....	16
3.1. みんなが主役！ごみ減量.....	16
3.2. 自分でできるエコなことって？.....	18
3.3. 環境に優しい街路灯.....	20
3.4. まちだエコ宣言登録事業者の取り組み.....	22
(1) 小田急百貨店町田店.....	22
(2) 町田焙煎珈琲株式会社.....	23
3.5. 市民の取り組み.....	24
(1) 緑のカーテン事業.....	24
(2) スマホアプリを使った生きもの調査「生きもの発見レポート」.....	25
4. 環境マスタープランの目標への達成状況.....	26
(1) 地域で取り組む地球温暖化の防止.....	26
(2) 自然環境と歴史的文化的環境の保全.....	26
(3) 持続可能な循環型社会の構築.....	27
〔コラム〕 地球温暖化の緩和策と適応策.....	27
(4) 良好な生活環境の創造.....	28
(5) 環境に配慮した生活スタイルの定着.....	28
町田市役所の地球温暖化対策.....	29
町田市環境マネジメントシステム.....	30

1. 「町田市環境白書」について

「町田市環境白書」は、町田市環境基本条例第16条に基づき、毎年環境状況及び環境施策に関して取りまとめ、報告・公表するものです。

1.1. 「町田市環境白書」の役割

町田市では、環境施策の基本となる環境像を定め、その実現に向けて分野ごとに目標及び施策を策定して総合的に推進するための計画である「第二次町田市環境マスタープラン」（以下、「環境マスタープラン」といいます。）と、町田市と市民、事業者が環境への負荷低減に寄与するための行動の方向性を示した「アクションプラン～第二次町田市環境マスタープラン推進計画～」（以下、「アクションプラン」といいます。）を2012年度に、「後期アクションプラン」を2017年度に策定しました。

「町田市環境白書」は、この「環境マスタープラン」「アクションプラン」に基づき、環境施策の進捗状況、目標達成状況を点検・評価し、市民に公表すること及び町田市を取り巻く環境の現状を周知することを目的としています。また、町田市の環境に関する「年次報告書」としての役割も担っています。

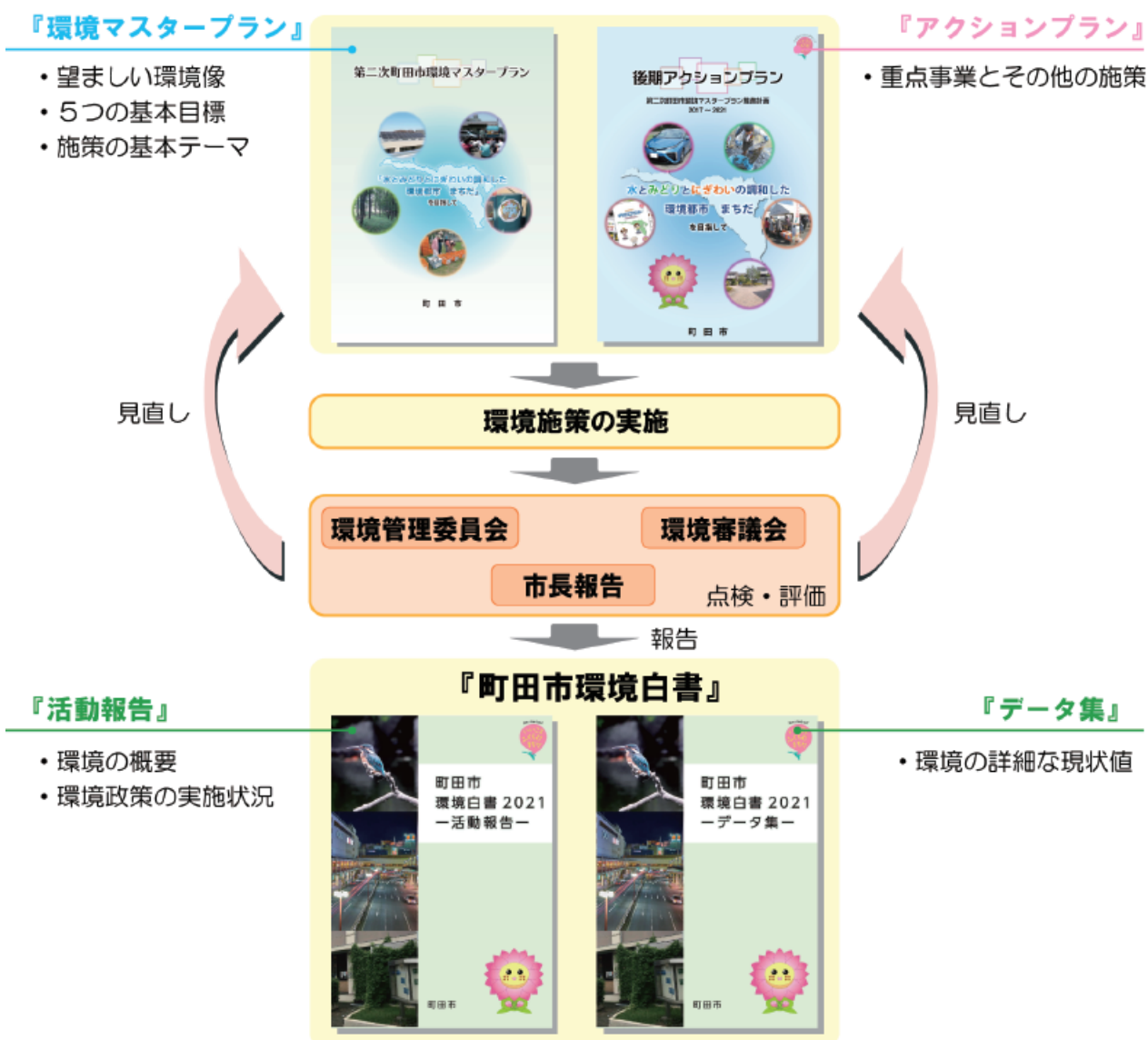


図 環境白書の位置づけ

1.2. 「環境マスタープラン」について

「環境マスタープラン」は、3つの環境領域(「地球環境」「自然環境・歴史的文化的環境」「都市環境」と、環境施策へのさまざまな主体の参画を促進するために必要となる「環境学習と協働」を対象範囲としています。

町田市の望ましい環境像として「水とみどりとにぎわいの調和した環境都市 まちだ」を掲げ、これを実現するために市民・事業者・行政が連携して進める5つの基本目標・各種施策を設定しています。

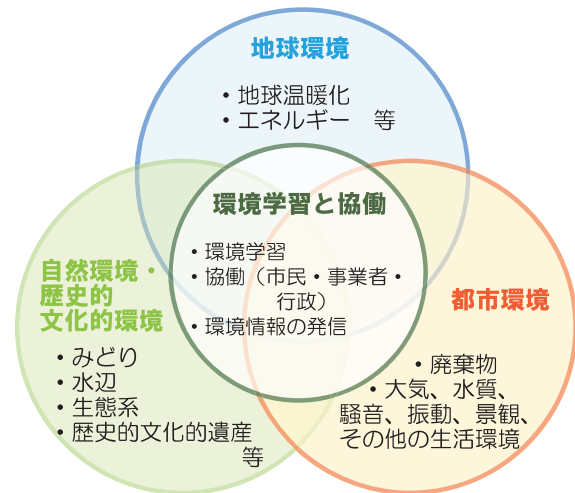


図 計画の対象とする範囲

環境像

「基本目標」と「施策の基本テーマ」

水とみどりとにぎわいの調和した環境都市
まちだ

1. 地域で取り組む地球温暖化の防止

～低炭素社会を目指すまちづくり～

- [1] 地球温暖化防止の意識の浸透を図り、取り組みを促します
- [2] 持続可能なエネルギー利用への転換を図ります
- [3] 地球温暖化防止に貢献するまちづくりを進めます
- [4] 二酸化炭素の吸収源として、みどりの確保を推進します

2. 自然環境と歴史的文化的環境の保全

～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

- [1] みどりを守り、増やし、育て、活かす取り組みを進めます
- [2] 水辺の保全・活用と水循環の健全化を進めます
- [3] 生物多様性の保全を進めます
- [4] 谷戸の環境と農地・農業を守ります
- [5] 歴史的文化的環境を守ります

3. 持続可能な循環型社会の構築

～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

- [1] ごみの減量、資源化に対する意識の向上を図り、取り組みを促します
- [2] ごみの発生抑制、再使用を進めます
- [3] ごみの資源化を進めます
- [4] ごみの適正な排出・処理を進めます

4. 良好な生活環境の創造

～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

- [1] 大気汚染の防止に努めます
- [2] 良好な水質の確保に努めます
- [3] 誰もが安心して快適に暮らせる環境の実現を図ります
- [4] 美しいまち並みづくりを進めます

5. 環境に配慮した生活スタイルの定着

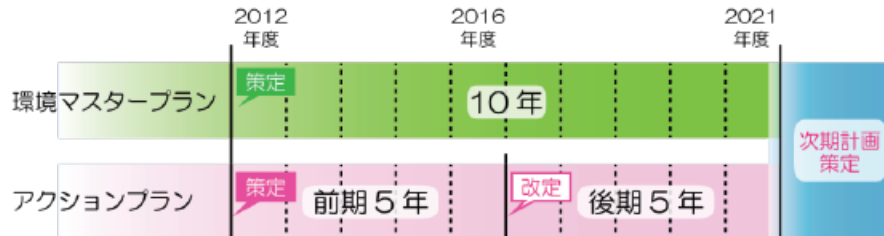
～学び・協働で進めるまちづくり～

- [1] 次世代を担う子どもの環境学習を進めます
- [2] 市民・事業者の環境学習・保全活動を推進します
- [3] 環境学習・保全活動の基盤づくりや協働の仕組みづくりを進めます

1.3. 「アクションプラン」について

「アクションプラン」は、「環境マスタープラン」の「望ましい環境像」と5つの基本目標の実現を目指し、町田市の取り組み、また市民、事業者の方がそれぞれの立場で、あるいは協働で取り組んでいただく内容を示した推進計画です。

「アクションプラン」は、2012年度から2016年度までの5年間を前期期間、2017年度から2021年度までの5年間を後期期間としています。後期アクションプランは前期の取り組み成果を発展させ、また環境を取り巻く状況や社会変化を踏まえ、改定したものです。



●後期アクションプラン

後期アクションプランでは、市が重点的に取り組む事業として31の重点事業を定めています。

『後期アクションプラン』の重点事業

- | | | |
|----------------------------|----------------------|-------------------------|
| 1. 地域で取り組む地球温暖化の防止 | 1 | 「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援 |
| | 2 | みどりのカーテン等の積極的な導入 |
| | 3 | 歩道の透水性舗装の整備 |
| | 4 | 路線バス利用環境整備 |
| | 5 | 水素ステーションの誘致 |
| | 6 | エコドライブの周知、普及・啓発の実施 |
| | 7 | 特別緑地保全地区等の指定拡大 |
| 2. 自然環境と歴史的文化的環境の保全 | 8 | 都市計画公園の用地取得・整備 |
| | 9 | 水辺の魅力の発信 |
| | 10 | 生物多様性情報拠点機能の構築・充実 |
| | 11 | 北部丘陵の整備 |
| | 12 | 遊休農地のあっせん |
| | 13 | 観光交流拠点を活用したイベントの実施 |
| 3. 持続可能な循環型社会の構築 | 14 | 情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用 |
| | 15 | ごみ減量に関する出前講座の充実 |
| | 16 | 食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施 |
| | 17 | 事業所向け情報提供の実施 |
| | 18 | 生ごみ処理機の導入促進 |
| | 19 | ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討 |
| | 20 | 熱回収施設等の整備 |
| | 21 | 資源ごみ処理施設の整備 |
| | 4. 良好な生活環境の創造 | 22 |
| 23 | | 下水道未整備箇所の污水管整備の推進 |
| 24 | | 下水処理水の水質向上 |
| 25 | | 有害化学物質の適正管理・処理の指導 |
| 26 | | 生活風景宣言等による良好な景観づくり |
| 5. 環境に配慮した生活スタイルの定着 | | 27 |
| | 28 | 子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施 |
| | 29 | まちだエコ宣言制度の推進 |
| | 30 | ホームページの充実による情報集約・発信 |
| | 31 | ごみ減量サポーターの地域活動支援 |

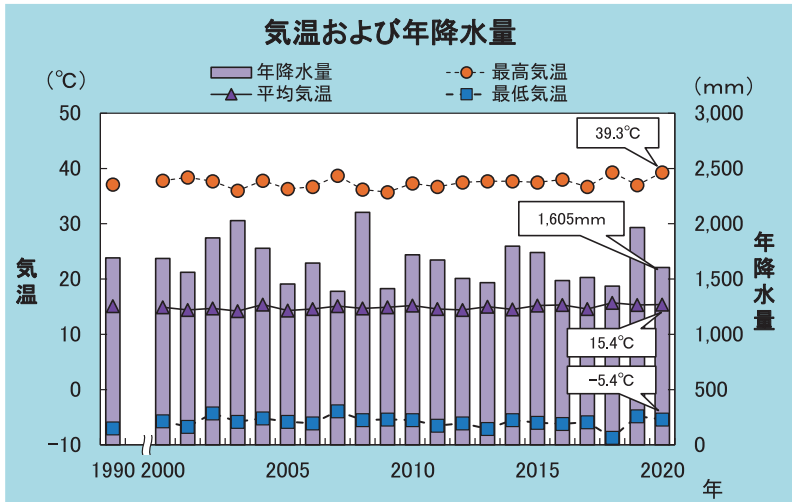
2. 町田市の環境の概要

町田市の環境の概要を紹介します。

2.1. 町田市の温暖化 ～二酸化炭素排出量の現状～

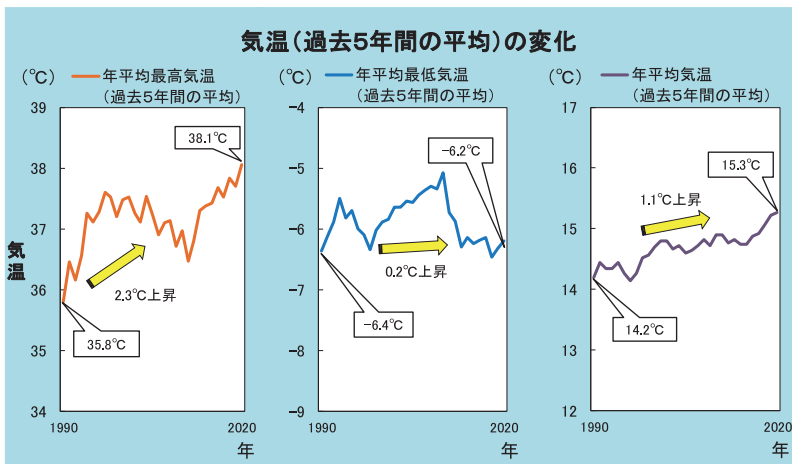
(1) 気温と年間降水量

ここ 30 年で平均気温は 1.1℃上昇しています。



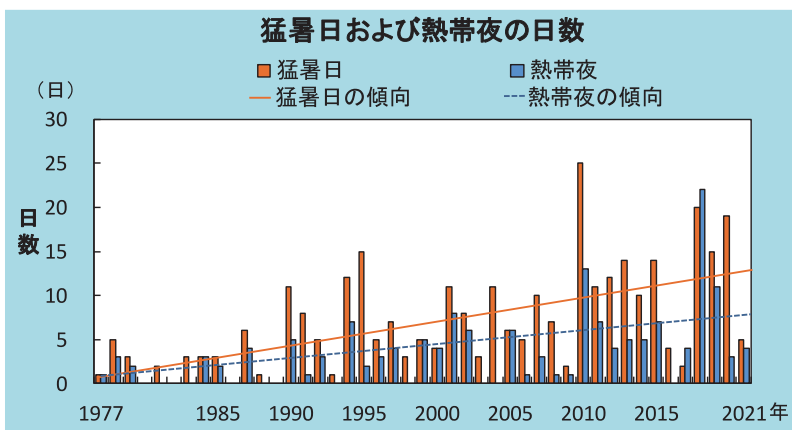
出典：気象庁データ(八王子地域気象観測所)

町田市に最も近い八王子地域気象観測所の値によると、2020年の最高気温は、39.3℃、最低気温は-5.4℃、年平均気温は 15.4℃、年間降水量は 1,605mm で、比較的降水量の少ない年でした。



出典：気象庁データ(八王子地域気象観測所)より算定

最高・最低・平均気温の各年過去5年間の平均(例：1990年は1986年から1990年の5年間の平均)でみると、1990年からの30年で最高気温は2.3℃上昇、最低気温は0.2℃上昇、平均気温は1.1℃上昇しています。



出典：気象庁データ(八王子地域気象観測所)より算定

1977年以降の猛暑日(最高気温35℃以上)、熱帯夜(最低気温25℃以上)の年ごとの日数の推移をみると、その日数は年々多くなる傾向を示しています。

コラム エシカル消費と食品ロス削減

エシカル消費

エシカル（倫理的・道徳的）消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことです。また、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴールのうち、特にゴール12に関連する取り組みです。

私たち一人ひとりが、社会的な課題に気づき、日々のお買い物を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみるのが、エシカル消費の第一歩です。

例えば「地産地消」や「認証ラベル製品の購入」、「マイボトルの利用」等もエシカル消費に含まれます。

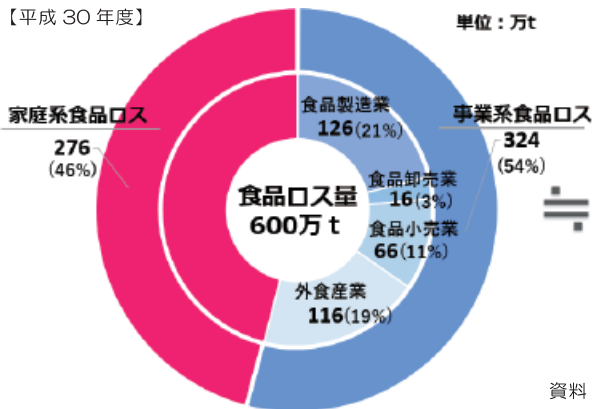
町田市では、来店者が持参するマイボトルやマイカップに飲みものを提供することができ、マイボトルなどの利用促進に協力していただいている店舗を「マイボトルOK店」として認定し、マイボトルの使用を促しています。

近年、国内においても特に取り組みに力を入れている、「食品ロス削減」も含まれています。

食品ロス削減

「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスは大きく分けると、事業活動を伴って発生する「事業系食品ロス」と各家庭から発生する「家庭系食品ロス」の2つに分類され、「食品ロス」の量は年間600万tになっています。

【平成30年度】



単位：万t

国民1人当たり食品ロス量

1日 約130g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約47kg

※ 年間1人当たりの米の消費量 (約54kg) に近い量



資料：総務省人口推計（平成30年10月1日）
平成30年度食料需給表（確定値）

出典：農林水産省ホームページ

町田市では、食品ロス削減の対策として、以下のような取り組みを実施しました。

●まちだ☆おいしい食べきり協力店

まちだ☆おいしい食べきり協力店とは、食品ロス削減に関する具体的な取り組みを行っている事業者（店舗）のことで、町田市が認定したものです。量り売りや小盛メニュー設定での適量注文ができるなどの取り組みを行っている事業者（店舗）を、市内に周知・PRすることで、食品ロスを減らすための行動をとりやすくすることを目的としています。



町田市食べきり協力店
ステッカー



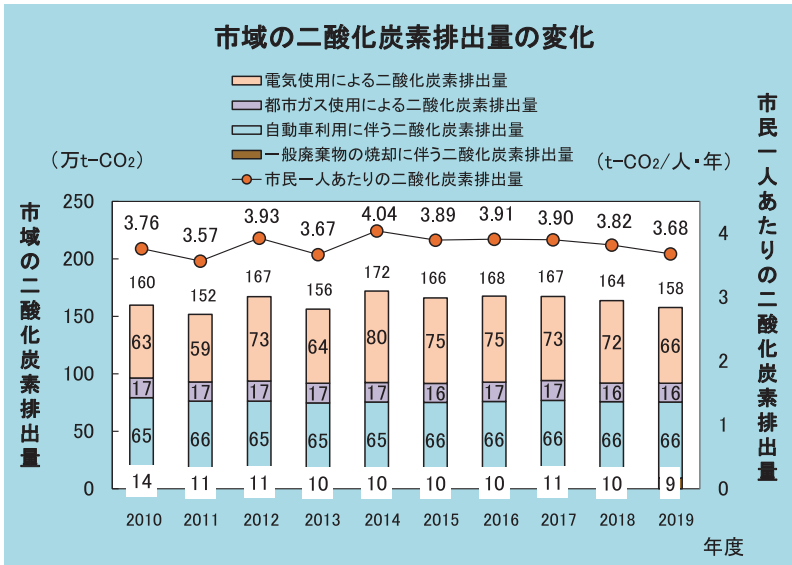
認証ラベル一例



SDGs（エスディー・ジーズ）とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標（ゴール）のことです。エシカル消費に関連している、ゴール12「つくる責任 つかう責任」とは、持続可能な消費と生産のパターンを確保することを目標としています。

(2) 二酸化炭素排出量¹

近年の二酸化炭素排出量はわずかに減少傾向です。

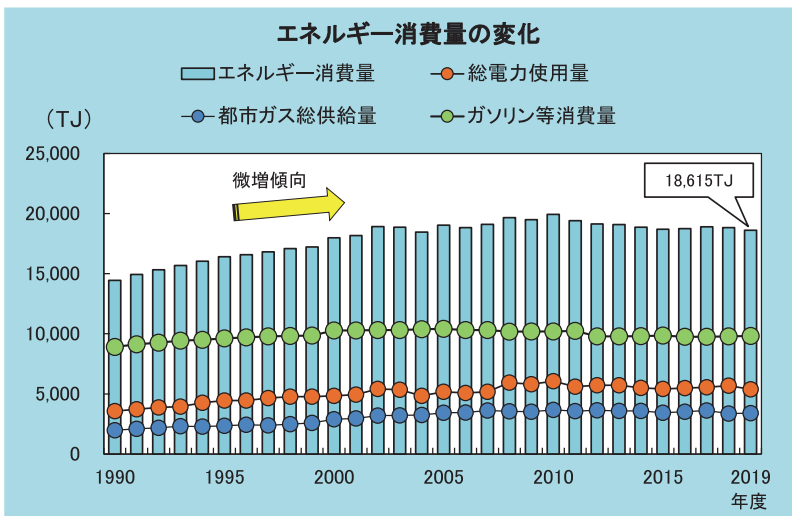


町田市の2010年度からの二酸化炭素排出量は、年度ごとに変動があります。その内訳を見ると、約42%を電気使用による排出量が占めています。電気使用量から二酸化炭素排出量を計算する際に使用する二酸化炭素排出係数²の変動の影響を受け、増減が大きくなっています。約42%を占める自動車使用による排出量は、ほぼ横ばい傾向にあります。

エコドライブ・公共交通の利用促進を引き続き図るとともに、電気使用量の削減について、より一層取り組みを行っていく必要があります。

(3) エネルギー消費量¹

近年は横ばいに推移しています。



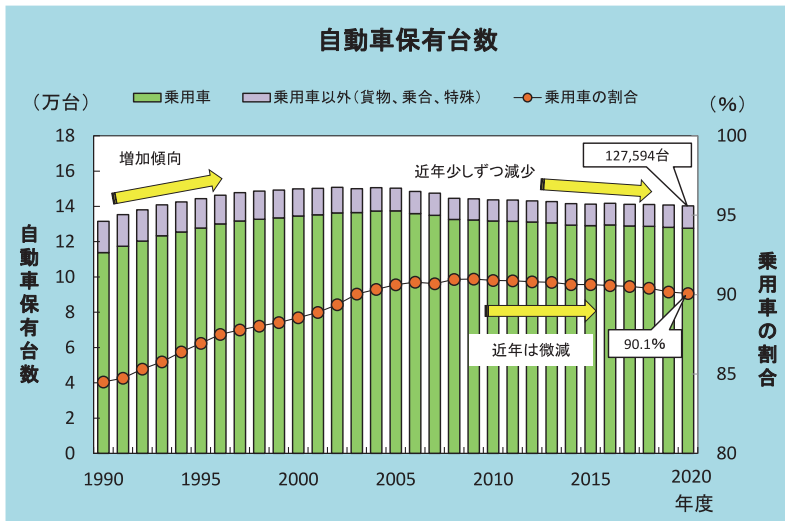
町田市全体のエネルギー消費量は、2000年ごろまで微増傾向にありましたが、その後横ばいに推移しています。

¹ (2) 二酸化炭素排出量、(3) エネルギー消費量の年次について：これらの数値については、東京都のデータを参照して算出しており、本環境白書編纂時点で2020年度のデータが公表されていないため、2019年度の数値を掲載します。

² 二酸化炭素排出係数：エネルギー使用量あたりの二酸化炭素排出量を指し、電気の場合は、電力会社が一定の電力を作り出す際にどれだけの二酸化炭素を排出したかを示すものです。

(4) 自動車保有台数・公共交通機関利用者数

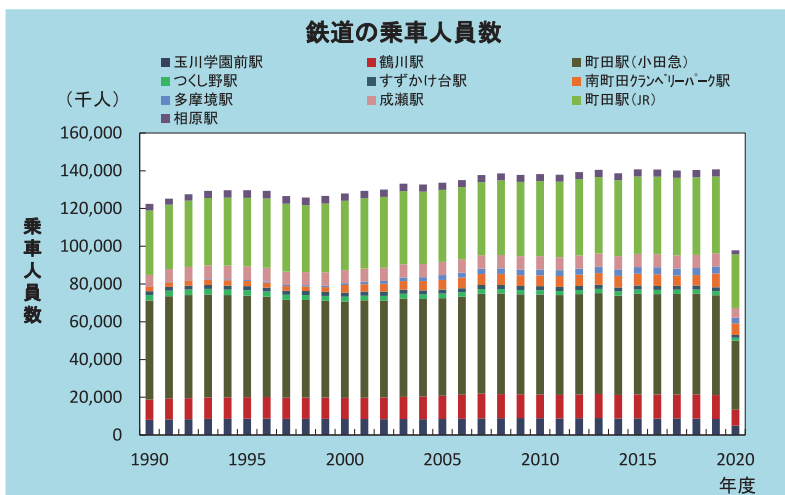
近年の自動車保有台数は微減、公共交通機関を利用する人は減少しています。



出典：市町村別自動車保有車両数 (一般財団法人 自動車検査登録情報協会編)

町田市全体の自動車保有台数(登録自動車台数)は、2000年ごろまで増加傾向にありましたが、近年は少しずつ減少傾向にあります。

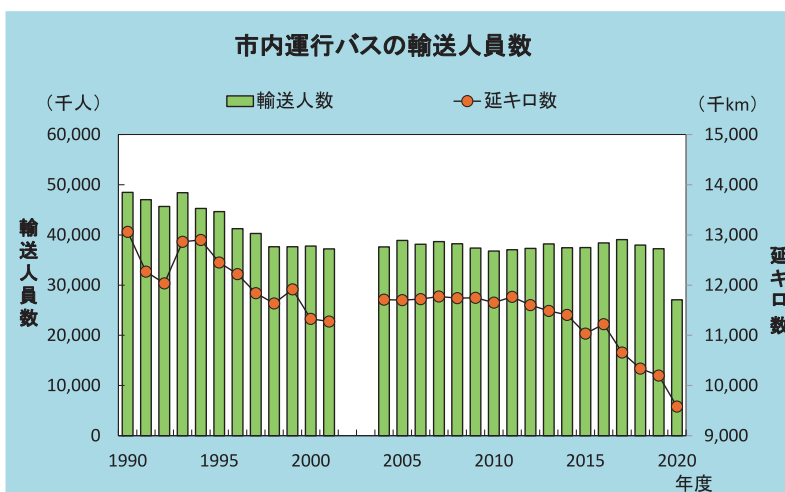
2020年度は、2019年度に比べて578台減少しました。



出典：町田市統計資料

町田市内の鉄道4路線10駅の年間乗車人員数は1990年代後半に一時減少傾向を示したものの、その後2019年度まで、微増傾向にありました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛やテレワークの普及等により、乗車人員数は大きく減少しました。



出典：町田市統計資料 (2002、2003年度はデータなし)

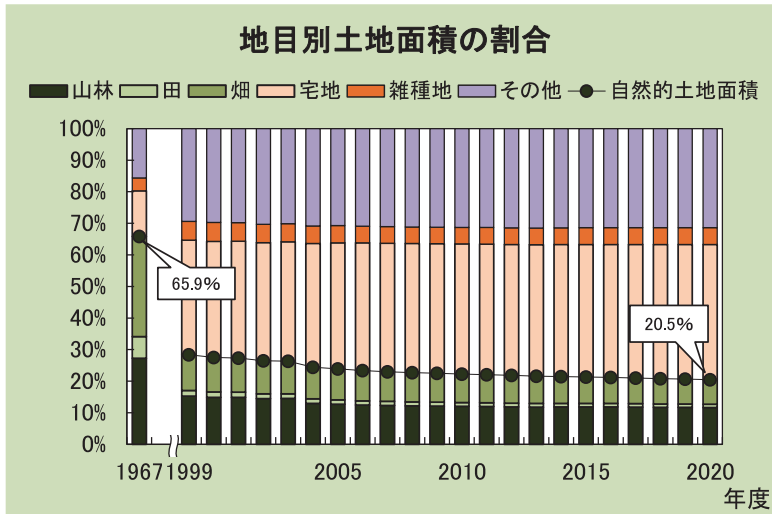
町田市内を運行するバスの延キロ数は減少傾向にあるものの、輸送人員数は、1998年度以降概ね横ばい傾向にありました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019年度に比べて輸送人員数が27.3%減少しました。

2.2. 町田市の自然環境 ～地目別土地面積と公園面積から見る緑地の割合～

(1) 自然的土地面積の割合

山林・田・畑などの自然的土地面積は年々減少しています。

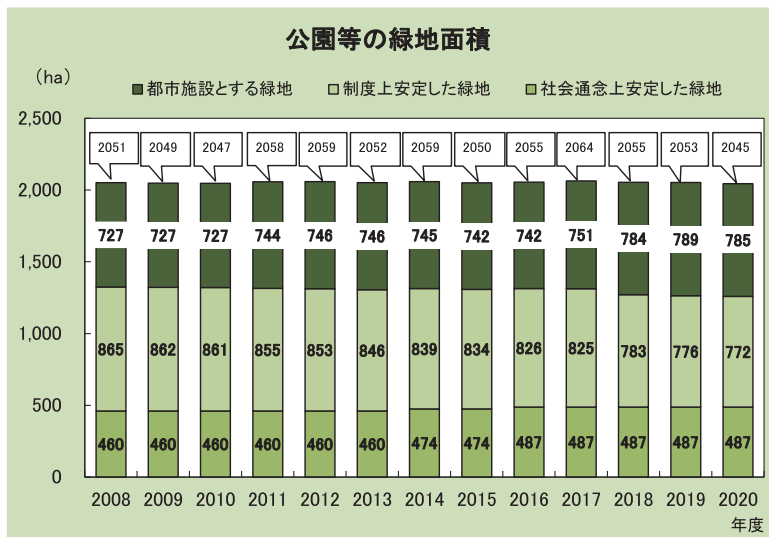


出典：固定資産税概要調書より作成

町田市は、鶴見川、境川、恩田川、真光寺川の源流域を有し、豊かな自然環境に恵まれています。しかし、地目別に見ると、1967年度に65.9%あった自然的土地面積は、2020年度に20.5³となるなど、山林、田、畑などの自然的土地面積は年々減少しています。

(2) 公園等の緑地

公園緑地等の都市施設とする緑地面積は概ね横ばいで推移しています。



出典：町田市公園緑地課資料

町田市では都市の主な緑地となる公園の整備や緑地の保全を進めています。

市民にとって身近な公園等である都市施設としての緑地の面積は、2020年度末で約785haであり、2018年度から概ね横ばいで推移しています。

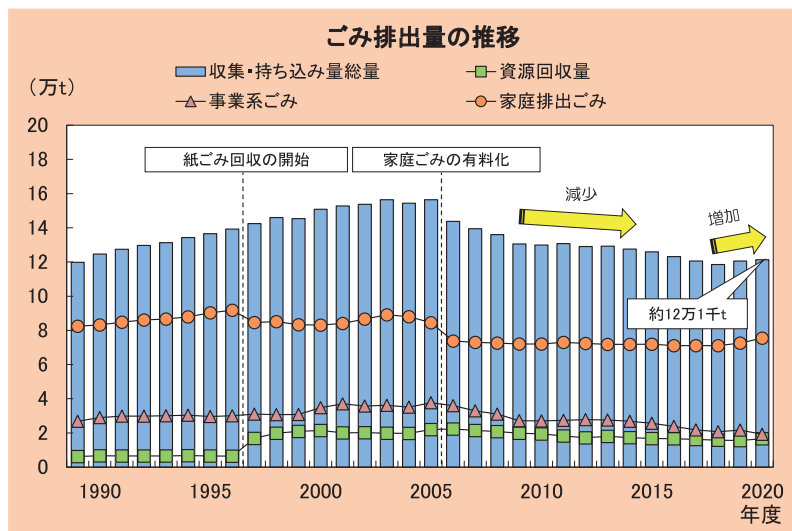
また、生産緑地や風致地区、ふるさとの森に代表される制度上安定した緑地、学校や社寺境内地等の、社会通念上安定した緑地などを含めると、町田市全体の公園等の緑地面積は2020年度末で約2,045haとなり、市域面積の約29%を占めています。

³ 地目別土地面積の算出方法：2015年度より固定資産税の概要調書作成において、「その他」の地目面積集計方法が変更され、地目別土地面積総計と行政面積に差異が生じました。このため、ここではその差異面積を、便宜的に「その他」の地目に加え、行政面積に対する地目別の割合を算出しました。

2.3. 町田市の廃棄物 ～ごみの排出量と資源化率からみる現状～

(1) ごみの排出量

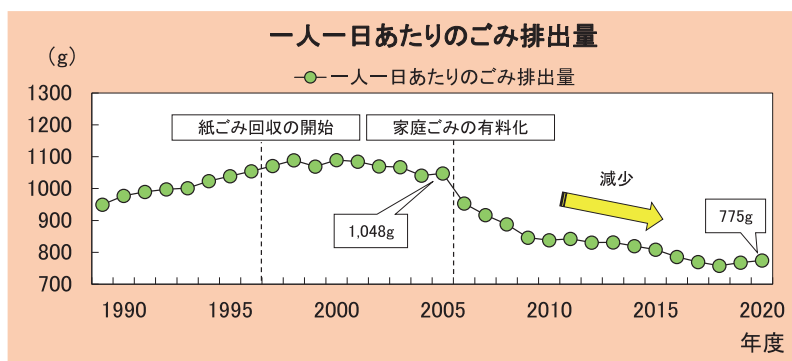
近年ごみの排出量は増加しています。



出典：町田市清掃事業概要(各年度3月末現在)

ごみ排出量は、1997年度に紙ごみ回収を開始したことにより、資源回収量が増加し、家庭ごみが少し減少しました。ごみ排出量の総量は、2003年度から2005年度にかけて最も多くなりましたが、2005年10月から家庭ごみの有料化を実施したこともあり、2006年度以降は減少傾向にありました。しかしながら2019年度から増加傾向に転じています。

2020年度は、2019年度と比べて約769t増加しています。

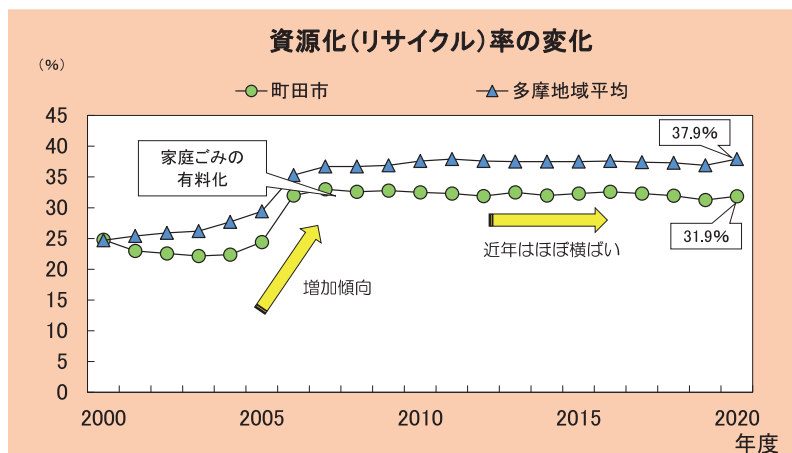


出典：町田市清掃事業概要(各年度3月末現在)

一人一日あたりのごみ排出量は、2005年度は1,048g/人・日でしたが、2020年度は775g/人・日まで減少しています。

(2) 資源化（リサイクル）率

資源化（リサイクル）率はほぼ横ばい傾向です。



出典：町田市清掃事業概要(各年度3月末現在)
多摩地域ごみ実態調査

町田市の資源化（リサイクル）率⁴は、2005年度から向上したものの、2007年度以降はほぼ横ばい傾向で推移しています。

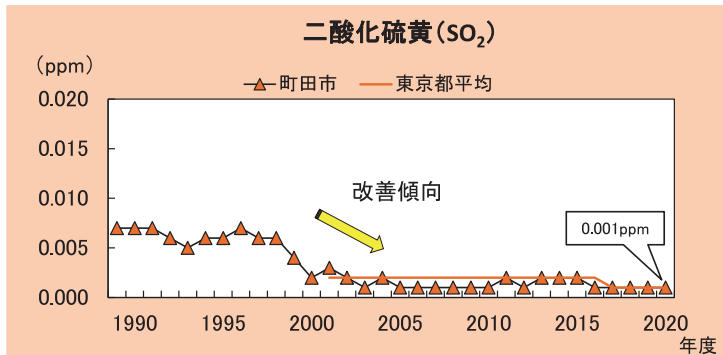
2020年度の資源化（リサイクル）率は31.9%で、多摩地域の平均と比較すると、6.0ポイント低くなっています。

⁴ 資源化（リサイクル）率：一般廃棄物の総排出量に対する資源化を行った総量の割合のことを言います。
資源化（リサイクル）率＝総資源化量÷総排出量（ごみ回収量＋資源回収量）×100

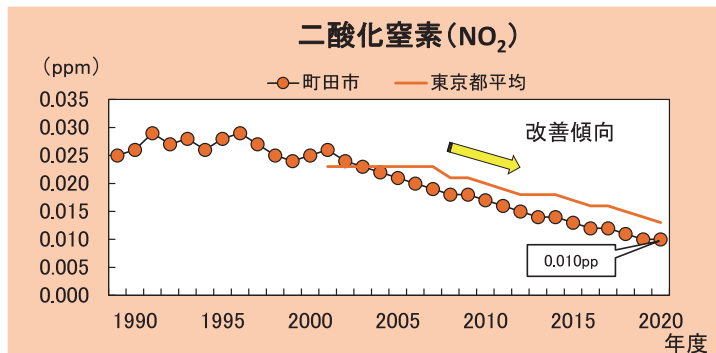
2.4. 町田市の生活環境 ～大気や水などの指標からみる現状～

(1) 大気環境測定結果

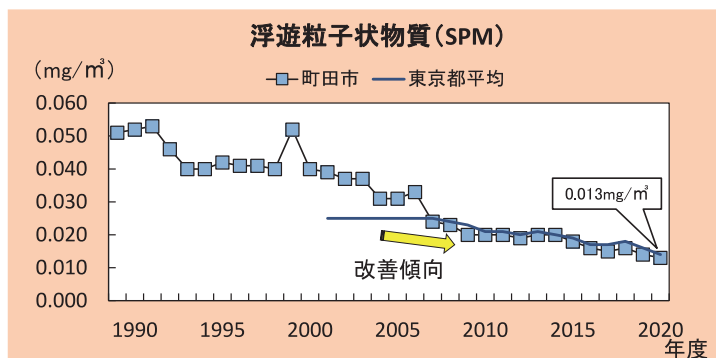
大気環境全般は改善しています。



出典: 東京都大気汚染常時測定結果報告



出典: 東京都大気汚染常時測定結果報告



出典: 東京都大気汚染常時測定結果報告

二酸化硫黄⁵ (SO₂) は、2002 年度以降減少し、改善傾向にあります。

東京都平均とほぼ並び、また、環境基準は下回っています。

二酸化窒素⁶ (NO₂) は、2002 年度以降減少し、改善傾向にあります。

東京都平均や環境基準とともに下回っています。

大気中の浮遊粒子状物質⁷ (SPM) は、東京都平均や環境基準を下回っており、年々改善傾向にあります。

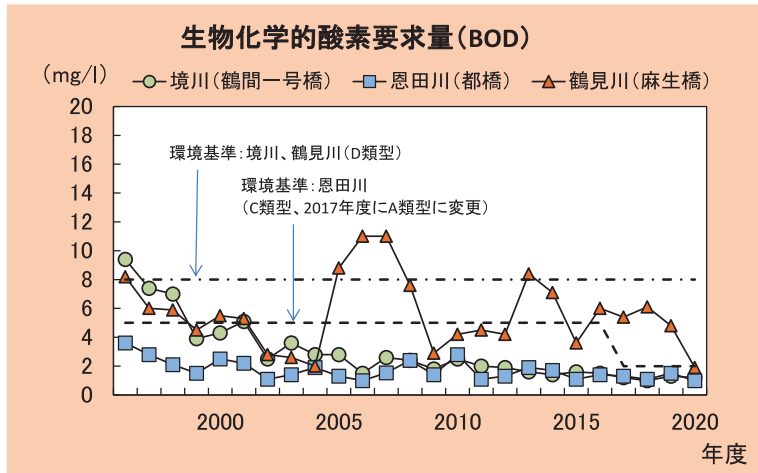
⁵ 二酸化硫黄：工場や火力発電所で石炭や重油を燃焼する際に発生するガスです。呼吸器への悪影響があるほか、酸性雨の原因物質でもあります。

⁶ 二酸化窒素：物が燃えると必ず発生するガスである窒素酸化物 (NO_x) の一つです。燃料により発生する一酸化窒素は大気中で酸化されて二酸化窒素となり、人間の呼吸器に悪影響を与えます。

⁷ 浮遊粒子状物質：大気中に浮遊する物質のうち、粒径 10 マイクロメートル (1 マイクロメートルは 0.001 ミリメートル) 以下のものをいいます。ボイラーや自動車の排出ガス等から発生するもので、大気中に長時間滞留し、呼吸器系に悪影響をおよぼす恐れがあります。

(2) 河川の水質測定結果

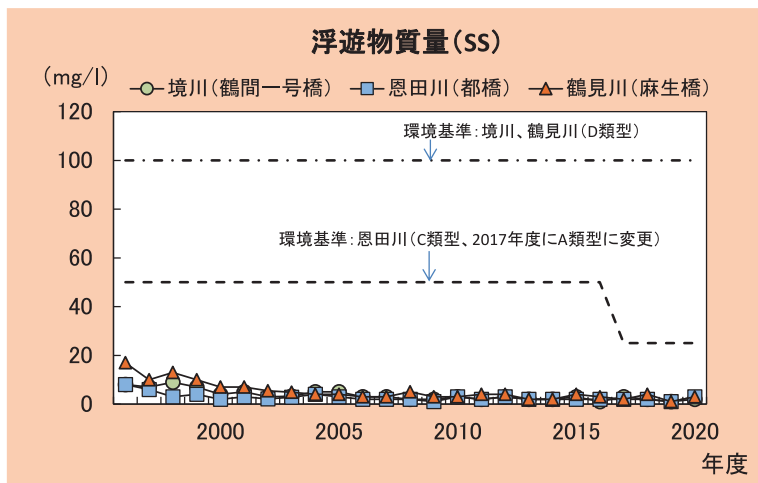
河川の水質は改善傾向です。



出典：東京都公共用水域及び地下水の水質測定結果（年度 75%値）

市内を流れる境川、恩田川、鶴見川の水質は、下水道普及率の向上に伴い、1990年代と比べて改善されました。

生物化学的酸素要求量⁸（BOD）は、鶴見川では変動があるものの、2014年度以降3河川とも環境基準を下回っています。

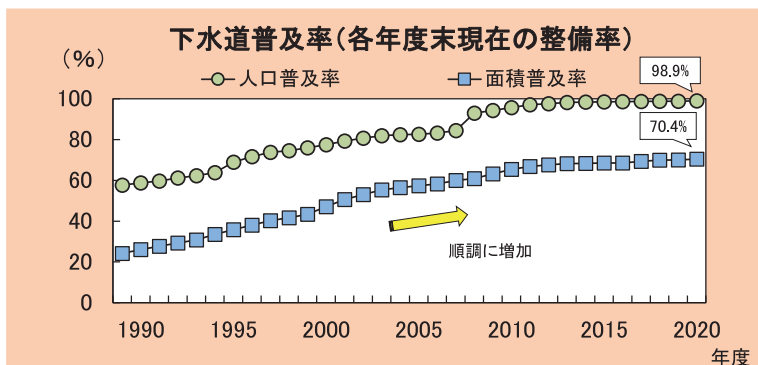


出典：東京都公共用水域及び地下水の水質測定結果（年度平均値）

浮遊物質⁹（SS）は、近年では3河川とも安定して良好な値を示し、環境基準を下回っています。

(3) 下水道普及率の変化

下水道普及率は順調に増加しています。



出典：下水道整備課資料

町田市の下水道普及率（人口普及率）は、着実に上昇し、2020年度末現在は、98.9%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加しています（面積普及率は前年度と比較して0.3ポイント増加）。

⁸ 生物化学的酸素要求量（BOD）：水中の有機物が、微生物のはたらきによって分解されるときに消費される酸素の量のことで、河川の有機汚濁を測る代表的な指標の一つです。河川的环境基準や排水基準などで定められています。数値（mg/L）が大きいほど、有機物の量が多く、汚れが大きいことを示します。

⁹ 浮遊物質（SS）：水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質の量のことで、主に粘土鉱物、動植物プランクトンやその死骸、工場排水等に由来する有機物や金属の沈殿物等であり、数値（mg/L）が大きいほど、水が濁っていることを示します。

3.活動報告

町田市、事業者、市民が 2020 年度に実施した環境に関する代表的な取り組みを紹介します。

3.1. みんなが主役！ごみ減量

町田市では、「ごみ減量」や「ごみの適正排出」について、YouTube や Instagram、Twitter を使って発信しています。啓発の行き届きにくい、主に 20 代 30 代の人たちをターゲットに、家で、家族と一緒に、また外出先でも手軽に楽しく学ぶことができるよう取り組んでいます。

●2020 年度の活動内容

YouTube での配信や Instagram、Twitter での投稿を用いて、「ごみ収集車の仕組み」、「分かりづらいごみの分別方法」、「ごみ関連施設の紹介」などを発信しました。さらに歌や踊りを取り入れるなど、ターゲットとする年代に見ただけのよう意識しました。

イベントの告知や、必要に応じて悪天候時の収集作業の状況などの緊急連絡も Instagram や Twitter で投稿しました。



YouTube「町田市公式動画チャンネル～さんあーるチャンネル～」



● 2020 年度の配信・投稿回数

- YouTube 「さんあーるチャンネル」 9 回配信（2020 年 9 月開始）
- Instagram 「ごみナクナーレ」 40 回投稿（2020 年 5 月開始）
- Twitter 「ごみナクナーレ」 66 回投稿



Twitter「ごみナクナーレ」



Instagram「ごみナクナーレ」



歌や踊りを取り入れ、若い世代の方たちにも見ていただけるよう工夫しました。

また、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントや講座などの現場に行けないこと、そして市民が外出を自粛して在宅時間が増えていることから、本来対面で行っている「ごみ減量啓発」をテーマとした内容の配信を行うようにしました。

SNS等の 利用者の声



- ◆ 今までわかりにくいと思っていたごみの分別方法が理解できた。
- ◆ イベントなどの開催予定が簡単にわかって便利。
- ◆ 子どもが大好きな“ごみ収集車のうた”を覚えることができたので、子どもと一緒に歌と踊りができるようになった。

●2021年度以降の展開

現在行っているYouTubeでの配信やInstagram、Twitterでの投稿に加えて、今後は、リアルタイムで直接市民とやり取りできるようなツールの活用を検討していきます。

●担当者からのメッセージ

子どもから大人まで、自分なりの「ごみ減量アイデア」などを随時募集しています。皆さんと一緒になって『ごみの少ないきれいな町田市』をつくっていきたくと思っています。

●活動への問い合わせ

「3R」「ごみ減量」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 環境資源部 3R推進課 TEL：042-797-0530

3.2. 自分でできるエコなことって？

●「わたしのエコ宣言」

「わたしのエコ宣言」とは、地球温暖化防止の意識浸透を図ることを目的に、市民の方が日常生活の中でできる（またはしている）地球温暖化を防ぐ行動を宣言していただくものです。

具体的には、「使わない部屋の照明は消す」や「テレビを見ないときは消す」などです。こうした、家庭ですぐにできる取り組み10項目の中から、いくつかの取り組みを選んで宣言していただきます。



「わたしのエコ宣言」ステッカー

●2020年度の活動内容

宣言していただいた方にエコドライブステッカーやエコバッグ「まちバッグ」をプレゼントする企画を実施したことで、1,129名に宣言していただきました。それにより削減されたCO₂は、推定で214,867tにあたります。

例年であれば、町田エコフェスタなどのイベントで宣言書を配布して、多くの方に宣言をしてもらっていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント中止が相次ぎ、市民の方にエコ宣言をしていただく機会がなくなる中で、どうすれば接触を避けつつ、多く宣言を集めることができるか考え、企画をしました。

「わたしのエコ宣言」10項目 地球温暖化を防ぐ行動	
冷蔵庫の開け閉めを少なくする	シャワーのお湯は流しっぱなしにしない
使わない部屋の照明は消す	お風呂のふたをしめる
テレビを見ないときは消す	洗顔や歯磨き中、水を流しっぱなしにしない
エアコンは夏は冷房28℃、冬は暖房20℃に設定する	使わないときはふたを閉める
パソコンを使わないときは、電源を切る	近くへの外出は徒歩や自転車で行く



エコバッグ「まちバッグ」

まちバッグとは

市民、事業者、町田市が一体となって作製した、町田オリジナルのエコバッグです。作製したバッグが環境分野への関心を抱くきっかけとなるよう、町田をモチーフとして「あなたの思い描く THE まちだ」のアイデアを市民から広く募集しました。

A面は、市民から寄せられた意見をもとにデザイナーが作画し、B面は、一般公募のデザインの中から決定しました。

エコ宣言をして
いただいた方の声



- ◆ 「まちバッグ」はデザインがかわいい。
- ◆ 「まちバッグ」は丈夫な素材で作られていて、長持ちしそう。
- ◆ FC 町田ゼルビアのファンなので、「エコドライブステッカー」を車に貼っている。



エコドライブステッカー



ゼルビーとステッカー

エコドライブステッカーとは

エコドライブの普及・啓発を目的として、エコドライブステッカーを無料配布しています。エコドライブは環境に優しいだけでなく、お財布にも、人にも優しい運転です。貼り直しができるため、車やバイク、身近な水筒やタンブラー、ノートなどにも貼ることができます。ステッカーをマグネットシートに貼るひと手間を加えると、洗車時なども簡単に取り外しが可能です。

●2021 年度以降の展開

2021 年度も多くのイベントの実施が難しい状況です。少ないイベントをいかに活かすか、また、接触を避けつつ宣言をしていただくにはどうすればよいか、知恵を絞ってより多くの方に宣言していただけるようにしていきます。

●担当者からのメッセージ

わたしのエコ宣言は、2016 年から始めた取り組みです。2021 年 3 月末までに延べ 8,190 人の方に宣言していただき、計 1,638.865t のCO₂を削減することができました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、集客型のイベント開催が難しく、皆さんの目に触れる機会も少なくなっています。今回の記事を通して初めて「わたしのエコ宣言」をお知りになった方、宣言にご協力いただけましたら幸いです。

●活動への問い合わせ

「わたしのエコ宣言」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。
町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL：042-724-4391

3.3. 環境に優しい街路灯

町田市では、約 31,000 灯の街路灯と約 1,700 灯の公園灯があり、そのうち 27,000 灯は水銀灯と蛍光灯でした。これには人体に悪影響を及ぼす水銀が含まれているため、地球規模での対策として 2017 年 8 月 16 日に施行された「水銀による環境の汚染防止に関する法律」により、2021 年以降の水銀灯の製造、輸出入が禁止となり、今後の維持管理や LED 化への更新が課題でした。また、地球温暖化の観点からも CO₂ の削減が急務でした。

これらの問題を解決するため、全ての街路灯・公園灯を LED 型照明へ更新することに取り組みました。

●2020 年度の活動内容

■ LED 化による削減効果



年間の CO₂ 排出量

約 2,902t-CO₂

が削減されました

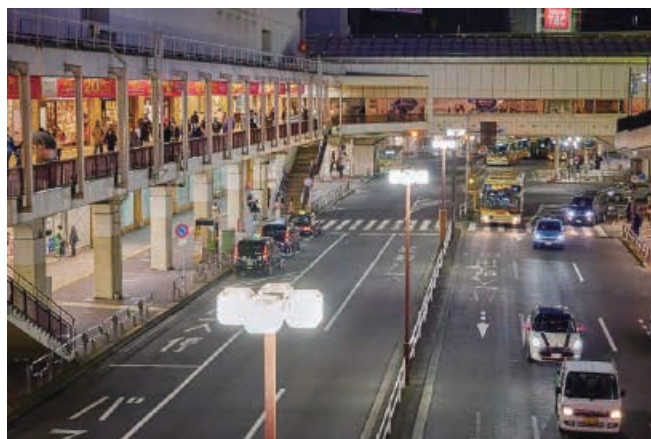


年間の電力量

約 5,528MWh
(メガワットアワー)

が削減されました

街路灯の LED 化事業では、民間のノウハウや工夫を最大限に活かせるよう公募型プロポーザル方式を採用しました。その結果、短期間で早期に CO₂ 排出量と電力量の削減が実現できました。



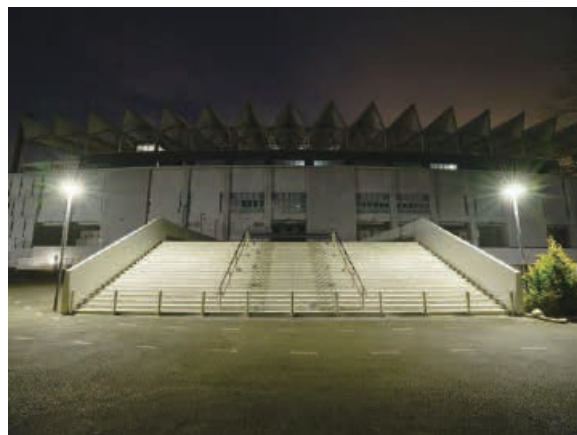
町田駅前の街路灯



町田駅前の街路灯



また、今回の事業では街路灯だけでなく公園灯も一緒に LED 化を行いました。



町田市立野津田公園の公園灯

街路灯・公園灯の LED 化により、市民の方から以前より明るくなったという声をいただいています。

また今回、24 時間 365 日稼働のコールセンターの設置により、市民の方からの街路灯・公園灯に関する問い合わせにいつでも対応可能になりました。

●街路灯・公園灯専用コールセンター

0120-280-070 24 時間 365 日

●2021 年度以降の展開

市民の方に、コールセンターの存在を広く知っていただけるように努めていきます。また、LED 化事業の実績や効果などを PR していきます。

●街路灯担当者からのメッセージ

新たにコールセンターの電話番号が記載された管理プレートを街路灯の近くに表示しています。市民の方が街路灯の不具合を見つけた際はコールセンターに連絡をいただきたいと思えます。

また、道路維持課では街路灯の管理や道路補修のほかに街路樹の管理も行っています。街路樹を管理していく上で樹勢衰退等により倒木する危険性のある街路樹に関しては伐採を行っています。伐採の際に出る木材（発生材）の一部を再利用し、ごみの量を削減することで環境への負荷の軽減に努めています。

●公園灯担当者からのメッセージ

公園灯の LED 化が完了しました。以前よりも明るくなったとのお声が寄せられています。公園灯の不具合もコールセンターで受け付けていますので、管理プレートをご確認の上ご連絡をお願いします。

●活動への問い合わせ

「街路灯」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 道路部 道路維持課 TEL：042-724-1121

「公園灯」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 都市づくり部 公園緑地課 TEL：042-724-4399
(公園管理係)

3.4. まちだエコ宣言登録事業者の取り組み

「まちだエコ宣言」は、環境に配慮した活動を行うことを宣言した市内事業者の取り組みを、市が広く市民の皆さんに紹介し、さらなる活動の広がりを応援していく制度です。2020年度末時点で、93店・事業所が登録しています。今回はこの中から、原町田にある「小田急百貨店町田店」と、本町田にある「町田焙煎珈琲株式会社」の取り組みを紹介します。

(1) 小田急百貨店町田店

小田急百貨店町田店は、1975年に町田店を開店し、2020年に45周年となりました。駅ビルという特性上、制約がある中で、最大限に環境配慮に向けた取り組みを行っておられました。

エコ宣言登録事業者としての取り組み実績

- マイバッグ利用の推進
- パーク&ライドの推進
- 社内における環境方針の策定
- 廃棄物削減、リサイクル推進への取り組み
- リサイクル推進店の参加
- 食品廃棄物の再利用
- 環境キャンペーンへの参加



小田急百貨店
矢尾板さん



小田急百貨店町田店
外観

●取り組みの工夫

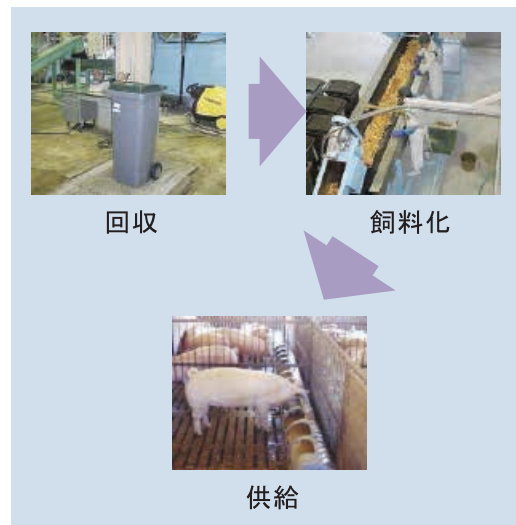
「小田急百貨店では、従業員一人ひとりに、環境方針が記載されたポケットサイズの印刷物が配布されており、年度ごとに見直しが行われたり、共有・確認がされています。」と語られるのは、小田急百貨店の矢尾板さん。

近年力を入れているのは、食料残さをリサイクルする取り組み。各店舗から回収された食品廃棄物を、リキッド状に飼料化して、豚の飼料にし、製品化を行っているそうです。「ご理解、共感をいただけるお客様にはご好評をいただいています。」と語られました。

町田店は、2018年にリニューアルし、照明をLED化して省エネの取り組みも推進されています。

百貨店に入っている店舗と協力して、コスメの下取りや衣料品の引き取りなども行われていました。「店舗には、小田急百貨店の環境への意を汲んでいただいています。また、それぞれでも環境意識が高まっており、みなさん前向きに実施してくださっています。」とのこと。

線路の上にある駅ビルのため、改装を行う際、手が増えらるる場所に制約があるなかで、「電球一つ変えるにしても、より省エネで環境に配慮した製品を選ぶことを徹底して行う努力をしています。施工業者も環境に配慮しているところを選んでいきます。できることを精一杯、これからも取り組んでいきたいと考えています。」と語られて、積極的な姿勢がとても印象的でした。



食品廃棄物リサイクルの流れ



店舗と協力開催の
コスメ下取り
キャンペーン



(2) 町田焙煎珈琲株式会社

町田焙煎珈琲株式会社は、2021年で開店から10周年を迎えました。2011年に住宅街の自宅の脇で開店、2015年に現在の場所に移転したそうです。地域との繋がりをとても大切にしておられる、代表取締役の岡さんにお話を伺いました。

エコ宣言登録事業者としての取り組み実績

- 商品のプラスチック個包装の削減
- 炭酸水製造によるペットボトル削減
- レジ袋の削減
- こまめな消灯
- エコドライブの実施
- 製造時に出るコーヒーかす（チャフ）の堆肥利用

●取り組みの工夫

「床も廃材でできてるんですよ。」そう語る岡さんは、環境に関して、ずっと関心をお持ちだったそうです。

ごみを出さない取り組みについてうかがうと、オリジナルのリユース缶を販売し、購入時お客様に使用していただくことによって、豆の袋を減らせているとのことでした。

また、コーヒー豆の薄い皮である「チャフ」を、以前は捨てていましたが、地元農家の方に堆肥として利用いただけるよう加工し、提供されていました。

このほか、商品のプラスチック個包装の削減にも努めておられました。数年前までは、ドリップバッグのパッケージを印刷する際、水に滲むインクを使用しておりビニールでの個包装が必要でしたが、耐水性のインクに変更することでプラスチックごみ削減を実現することができました。

イベントの際には、炭酸水をマシンを使って自社で製造しており、ペットボトルの削減としては約1,000本に上っているとのことでした。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントが行われていませんが、またイベントが開催されれば、取り組みを再開したいとのことでした。

電力もCO₂ゼロの電力会社を選んでいました。岡さんが選択したのは、再生可能エネルギーへ投資する電力会社とのことで、その取り組みに共感して契約したそうです。積極的に環境のために行動・選択を行う姿勢が感じられました。

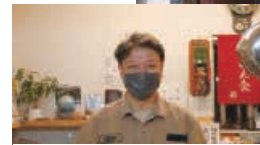
環境のために、ご自身でできる最大限の行動をしておられる岡さんは、「こうした環境への取り組みは、自分が行うだけで満足するのではなく、人に伝えていく必要がある」と述べられ、環境に対する強い気持ちがうかがえました。

●活動への問い合わせ

「まちだエコ宣言」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。
町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL：042-724-4391



ショップ外観



代表の岡さん



ショップ内観

廃材を利用した床



堆肥に加工した「チャフ」



ドリップバッグやティーバッグの袋

3.5. 市民の取り組み

市民による環境への取り組みの中から、緑のカーテン事業とスマホアプリを使った生きもの調査「生きもの発見レポート」を紹介します。

(1) 緑のカーテン事業

節電意識を高め、過度にエアコンに頼らない快適な夏を過ごすため、市民による緑のカーテンづくりが毎年実施されています。

●ゴーヤやアサガオの苗の配布

緑のカーテンを市内に広めるために、ゴーヤやアサガオの苗を配布しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民への配布会は中止し、希望者へ種の郵送配布を行いました。商店会、町内会・自治会、民間団体、公共施設などを含め2,000苗を配布しました。

配布した苗が緑のカーテンになった時の二酸化炭素(CO₂)削減効果は、およそ128tになります(1苗で面積4m²の緑のカーテンができ、0.064tのCO₂が削減できると想定)。

また、公共施設や小中学校で育てたゴーヤは、市役所の食堂や学校給食で市民や児童にも提供されています。



町田市内の緑のカーテンの事例

(左: 町田第一小学校お父さんネットワーク、右: 東京電力パワーグリッド株式会社多摩総支社 町田事務所)

水やりのコツ

上手に緑のカーテンを育てるには、水やりが大切です。
いくつかのポイントをおさえて、元気なカーテンをつくりましょう。

梅雨明けを境に変わります

【梅雨明け前】

「水のあげ過ぎ」による根腐れに気をつけてください。2～3日に一度のペースで充分です。ただし、1回でたっぷり水をあげます。プランターなら底から水が流れ出る量が目安です。

【梅雨明け後】

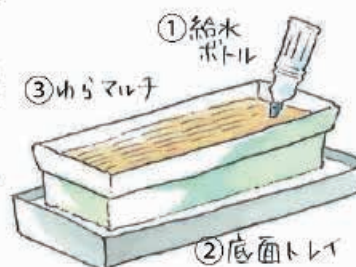
1日1回は土全体にいきわたるように与えましょう。真夏は水分を奪われやすいので、様子を見て2回に増やしてください。しおれていたら、時間帯にこだわらず水を与えます。

長時間外出する時は…

【①給水ボトル】2Lのペットボトルに水を入れ、キャップ部分にドリップ灌水用チューブを取り付けます。プランターあたり2本程度設置します。

【②底面トレイ】プランターより大きいバット(水受け)に水を満たし底面から吸水を促します。

【③わらマルチ】土にワラなどをかぶせて、土壌表面からの蒸発を抑えます。



出典: 緑のカーテンのつくりかた(NPO 法人 緑のカーテン応援団)

●活動への問い合わせ

「緑のカーテン事業」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL: 042-724-4391

(2) スマホアプリを使った生きもの調査「生きもの発見レポート」

2019年4月から、市民参加による生きもの調査「生きもの発見レポート」を実施しています。これはスマートフォンの市民通報アプリ「まちピカ町田くん」を使って、写真と位置情報を送っていただく調査です。

市内のさまざまな場所で暮らす生きものとその生息地の情報を収集して、どこにどんな生きものがあるかを調べるとともに、調査に参加したり、蓄積した情報を閲覧することを通して、市民のみなさまが生きものに親しみを感じていただくことを目的としています。

●「生きもの発見レポート」の送り方

「生きもの発見レポート」は、スマートフォンがあればいつでも・どこでも・誰でも気軽に参加することができます。

事前準備として、スマートフォンに市民通報アプリ「まちピカ町田くん」をダウンロードします。その後の手順は以下のとおりです。

- 1 市内で生きものの写真を撮影する。
- 2 スマートフォンで「まちピカ町田くん」を起動する。
- 3 トップ画面で「メール通報・レポート」を選択する。
アプリの流れに従い、写真を添付（2枚）して、位置情報を取得する。対象の種類を選択して、必要があればコメントを入力する。
- 4 メール画面で内容を確認し、送信する。



「まちピカ町田くん」は
こちらからダウンロード



iPhoneを
お使いの方



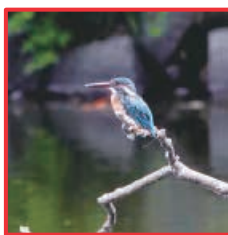
Androidを
お使いの方

●2020年度の投稿内容

2020年度は、合計1,473件の生きものが報告されました。一番多い月は9月で、特に昆虫の情報が多く寄せられました。

また、毎年調査で集まった生きもの情報を、「まちだ生きものアルバム」としてまとめています。

【投稿写真の紹介】



かき 双
(野津田)



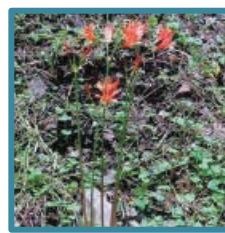
シュレゲルアカガエル
(山崎)



トノサマバッタ
(本町田)



ムツタテアカネ
(下小山田)

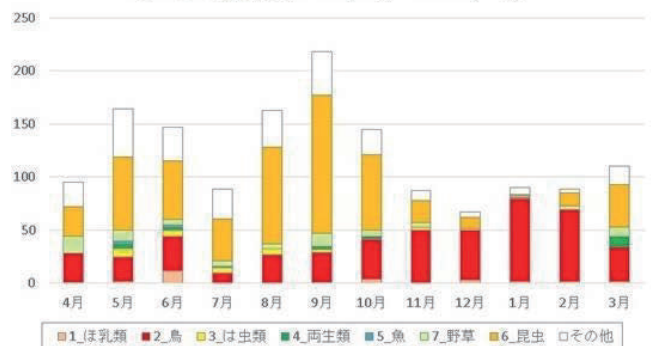


キツネガミソリ
(相原)



キタテハ
(下小山田)

月ごとの報告数(2020年4月～2021年3月)



※1つの投稿に複数の種類が写っていたものは、それぞれに計上しています。

※調査対象外は「その他」に集計しています。

●活動への問い合わせ

「生きもの発見レポート」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL: 042-724-4391

4. 環境マスタープランの目標への達成状況

「環境マスタープラン」に掲げる、5つの基本目標ごとの達成目標の進捗状況を報告します。

(1) 地域で取り組む地球温暖化の防止 ～低炭素社会を目指すまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①市民一人あたりの二酸化炭素排出量の10%削減を目指す	3.8 (t-CO ₂ /人)	3.68 (t-CO ₂ /人)	集計中	3.42 (t-CO ₂ /人)	★ ☆ ☆ ☆ ☆
②再生可能エネルギーの市内エネルギー消費量に対する割合0.3%を目指す	0.05%	-	-	0.3%	★ ★ ★ ☆ ☆
※市内の再生可能エネルギー(FIT)導入率	-	2.9%	集計中	-	
③徒歩、または自転車・電車・バスを利用する市民の割合47.1%を目指す	37.1%	32.2%	30.9%	47.1%	★ ☆ ☆ ☆ ☆

- ① 東日本大震災以降に減少した電力、都市ガス等の使用量は、多少の減少傾向は見られますが、近年概ね横ばい傾向です。大幅な二酸化炭素排出量の削減は進んでいません。2020年度の数値は、「町田市環境白書 2022」に掲載予定です。
- ② 市内のエネルギー消費量に対する再生可能エネルギーの割合は、2016年度まで実施していた設置補助事業による導入設備を対象としていたため、事業が完了した2017年度以降は、環境省「自治体排出量カルテ」を参照し記載しています。
- ③ マイカーをできるだけ控える市民の割合は概ね横ばいで推移しています。

(2) 自然環境と歴史的文化的環境の保全 ～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合30%を目指す	28.9%	28.7%	28.6%	30.0%	★ ☆ ☆ ☆ ☆
②市内での水辺とのふれあいに満足している市民の割合49.8%を目指す	39.8%	52.0%	48.2%	49.8%	★ ★ ★ ★ ☆
③生きものに関心のある市民の割合40%を目指す	31.3%	33.7%	34.4%	40.0%	★ ★ ☆ ☆ ☆

- ① 市域面積に占める緑地の割合は、2019年度から概ね横ばいで推移しています。
- ② 水辺とのふれあいについて、満足している市民の割合は2017年度から増加傾向でしたが、2020年度は減少しています。
- ③ 生きものに関心のある市民の割合は、増加しています。

(3) 持続可能な循環型社会の構築 ～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値 (2020年度)	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①ごみとして処理する量を6万tにする	99,152t	94,309t	94,719t	60,000t	★☆☆☆☆
②一人一日あたりの総ごみ量 782g/人・日を目指す	842.0 g/人・日	767.9 g/人・日	774.7 g/人・日	782.0 g/人・日	★★★★★
③資源化率54%を目指す	26.7%	24.8%	25.1%	54%	★☆☆☆☆

- ① 2020年度のごみとして処理する量は94,719tと基準年度に比べ4.5%減少しています。
- ② 一人一日あたりのごみ量は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛による家庭ごみ増加の影響で、2019年度より増加しましたが、目標は達成しています。
- ③ 資源化率は2019年度と比較すると増加していますが、基準年度からは低下しています。

コラム 地球温暖化の緩和策と適応策

世界では、地球温暖化により、かつて経験したことのないような気候の変化が生じています。極端な豪雨や高温によって、自然災害が相次いでいますが、例えば、2019(令和元)年の台風19号が、町田市においても土砂崩れ等の被害をもたらしました。近年の台風の大型化は、日本周辺の海水温度の上昇が影響していると考えられています。こうした地球温暖化の問題に対処するための方策には、大きく分けて2つあります。

かんわさく 緩和策…温室効果ガスの排出を抑制すること

二酸化炭素をなるべく排出しないエネルギーの使用や省エネ行動・省資源へつなげる選択をすることが、緩和策に繋がります。

例えば、家庭では再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策を行うことができます。また交通分野では、徒歩や自転車、公共交通機関を利用すること、燃費の良い次世代自動車に乗ること等があげられます。



てきおうさく 適応策…温暖化の悪影響にあらかじめ備えておくこと

地球温暖化が進むと、暑い日が増えますが、熱中症にならないように、暑さを避けたり、こまめに水分をとったりすることも適応策の一つです。

また豪雨や台風に備え、避難に必要な知識を習得し、災害時の避難に備えた行動計画(マイタイムライン)を一人ひとりが作成しておくことなども大切です。町田市ホームページでも、風水害対策に関する情報を発信しています。



町田市 ホームページ [トップページ](#) > [暮らし](#) > [防犯・防災](#) > [防災](#) > [町田市の風水害対策](#) > [台風の接近・集中豪雨の発生に備えて事前に知っておこう!](#)

出典：環境省ホームページ、気候変動適応情報プラットフォーム

(4) 良好な生活環境の創造 ～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①市内の大気質(SO ₂ 、NO ₂ 、SPM)の環境基準達成を目指す	SO ₂ 、NO ₂ 、SPMの基準値達成	SO ₂ 、NO ₂ 、SPMの基準値達成	SO ₂ 、NO ₂ 、SPMの基準値達成	全項目基準値達成	★ ★ ★ ★ ★
②市域の河川(鶴見川、境川、恩田川を対象)の水質(pH、BOD、SS、DO)の環境基準達成を目指す	恩田川のpH以外基準値達成	pH以外基準値達成	pH以外基準値達成	全項目基準値達成	★ ★ ★ ★ ☆
③居住地の周辺環境に満足している市民の割合67.7%を目指す	62.7%	72.4%	67.3%	67.7%	★ ★ ★ ★ ☆

- 2020年度までは、大気に関する項目は、すべての対象項目(SO₂、NO₂、SPM)で環境基準を達成しています。
- 河川の水質に関する項目は、水素イオン濃度(pH)以外は、環境基準を達成しています。pHは、3河川ともアルカリ側に超過しており、藻の光合成の影響と考えられます。
- 居住地の周辺環境に満足している市民の割合は、67.3%で、基準年度より4.6ポイント増加しています。

(5) 環境に配慮した生活スタイルの定着 ～学び・協働で進めるまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①環境に配慮した行動を行っている市民の割合50.7%を目指す	40.7%	38.9%	39.6%	50.7%	★ ☆ ☆ ☆ ☆
②市内小中学校での環境教育や環境配慮行動の実施100%を目指す	100%	100%	100%	100%	★ ★ ★ ★ ★
③環境学習や環境に関するイベント等へ積極的に参加する市民の割合17.6%を目指す	10.6%	13.0%	13.5%	17.6%	★ ★ ☆ ☆ ☆

- 環境に配慮した行動を行っている市民の割合は、基準年度より減少しています。
- 市内の小中学校における環境学習は全校で継続的に実施され、定着しています。
- 環境学習や環境に関するイベントへの参加率は基準年度より2.9ポイント増加しています。

注)「目標達成状況」の★の数について

- ★☆☆☆☆ 0・10%
- ★★★★☆ 20・30%
- ★★★☆☆ 40・50・60%
- ★★★★☆ 70・80・90%
- ★★★★★ 100%

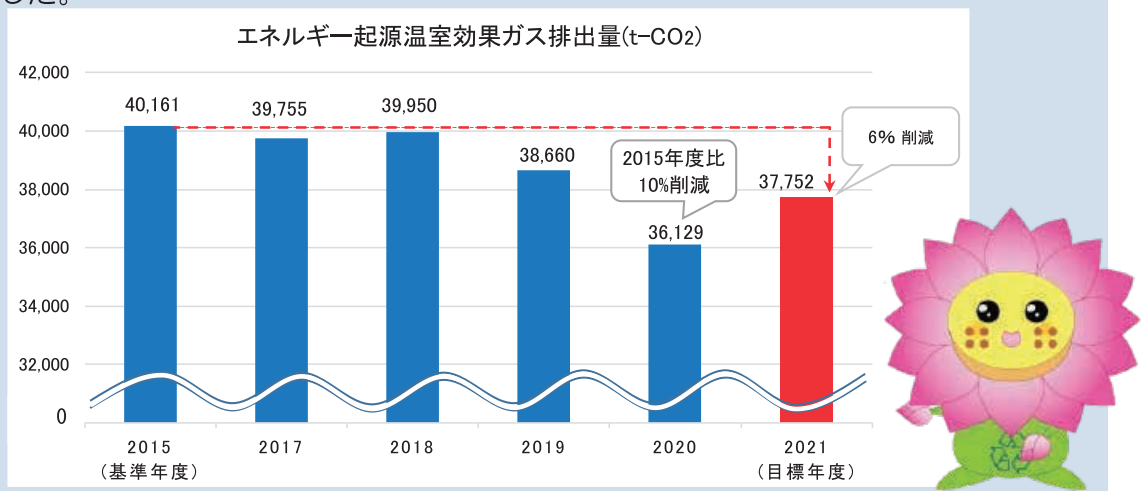
町田市役所の地球温暖化対策

町田市では、市役所における2017年度から2021年度の5年間の地球温暖化対策実行計画として、「町田市第4次環境配慮行動計画（以下、第4次行動計画）」を策定し、温室効果ガス排出量削減のため、省エネ・省資源、廃棄物の減量等の取り組みを行っています。

温室効果ガス総排出量

第4次行動計画では、主に職員の事務事業活動における電気・都市ガス・燃料等の使用から算出されるエネルギーを起源とする温室効果ガス排出量について、**2021年度までに2015年度比で6%以上削減すること**を目標に掲げています。

2020年度の温室効果ガス排出量は36,129t-CO₂で、2015年度と比較して**10%減少**しました。



具体的には、下記のような取り組みを行っています。

エコオフィス活動

省エネ・省資源につながる活動を各職場で実施しています。

＜活動例＞

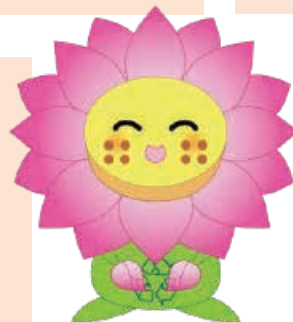
- ・用紙の適正使用（2in1印刷や両面印刷）
- ・空調や施設設備の適正使用
- ・エコドライブの推進

グリーン購入

環境に配慮した製品がより多く市場に出回るように、市役所では、文房具等消耗品を中心に、できるだけ環境への負荷の少ない商品を優先的に選んで購入する「グリーン購入」を推進しています。

環境配慮契約（電気）

市役所では、電力契約を行う際、契約する電力会社の供給する電気が、環境に配慮したものか、一定の基準を設けて確認し、事業者を選定しています。



これからもいろんな取り組みを実践して、環境負荷低減に貢献するのん♪

町田市の取り組み情報詳細は、市のホームページでもご覧いただけます。ホームページの検索フォームで『環境マネジメント』と検索してみてください。

町田市環境マネジメントシステム

町田市では、町田市第4次環境配慮行動計画に基づく環境に関する取り組みを適切に進行管理するシステムとして、「町田市環境マネジメントシステム（以下、町田市EMS）」を運用しています。町田市EMSは、各部署の取り組み状況を内部環境監査や、外部評価で点検・評価し、市長総括による見直しを行う仕組みになっています。

Step 1

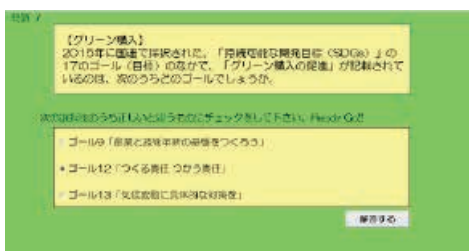
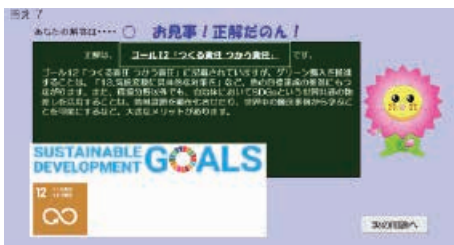
職員が学びます

[職員研修の開催]

1. 管理職研修
新任の管理職を対象とした研修です。
2. 庁舎管理責任者研修
施設所管部署の職員を対象とした研修です。
3. 環境推進員研修
市役所各課におけるエコオフィス活動の推進役として任命された「環境推進員」の研修です。
4. 新入職員研修
新たに入庁した職員向けの研修です。

[職場研修の実施]

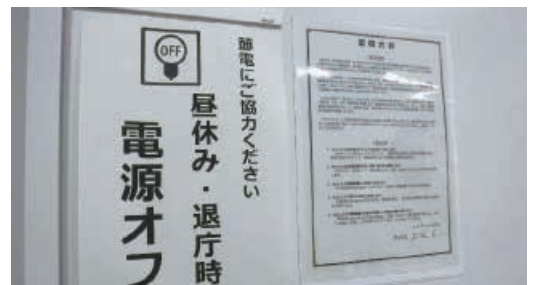
職員研修後、部署ごとに内容を定めて職場研修を実施しています。環境に関する問題に各自がパソコンで回答するeラーニングも実施しています。



Step 2

職員が取り組みます

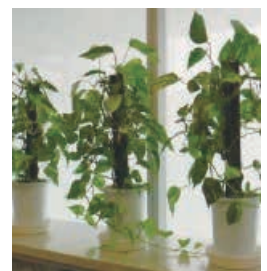
[エコオフィス活動の実施]



不要時の消灯について意識を高めるため数カ所に掲示している



分別ステーション
の設置



吹き抜けからの照り返しが強い
ため、観葉植物で遮光

[市役所全体の紙購入量の削減]

紙購入量の削減について、目標値は設定しないものの、市役所全体の紙購入量について、実績を把握・管理し、削減に努めています。

[環境法令の遵守]

町田市の多くの施設で該当する環境法令を対象として、遵守事項をまとめた「環境法令遵守チェックシート」を作成して遵守事項の確認を行うとともに、遵守状況の自己点検を実施します。



Step 3

取り組んだ結果を確認します

[内部環境監査]

内部環境監査では、職員が監査員となり、活動状況、エネルギー使用量の監査を行います。年1回定期監査を行い、改善すべき点があった場合はフォローアップ監査も実施しています。例年、出先機関や学校など約20か所を対象に行っています。

[外部評価]

外部評価委員が市役所の環境への取り組みを評価します。外部評価委員は、市民、事業者、学識経験者で構成しています。外部評価委員の方々には、委員会での議論や現地確認を通して、前年度の取り組み結果を評価していただいています。



外部評価委員による現地確認の様子（2019年度）

[市長総括]

前年度の実績、内部環境監査、外部評価を踏まえ、市長が総括を行います。

Step 4

確認した結果を話し合います

[町田市省エネルギー等対策会議]

STEP3の市長総括結果を受け、さらなる温室効果ガス削減の推進に必要な措置等を諮る会議です。

- ▶ 結果を次年度の取り組みや研修の内容に活かします。
- ▶ Step 1～4を繰り返し行うことで、さらなる改善につなげます。

エコな市役所を目指して
がんばっているのん♪



町田市
環境白書 2021
—活動報告—

編集・発行	町田市環境資源部 環境政策課
所在地	〒194-8520 町田市森野2丁目2番22号
電話	042-724-4386
発行日	2021年11月30日
編集協力	アオイ環境株式会社
印刷	福川印刷株式会社
刊行物番号	21-45

この冊子は、1,000部作成し、1部あたりの単価は762円です（職員人件費を含みます）。

リサイクル適性 **A**

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。